

第5次環境基本計画に掲げる成果指標・参考指標の状況等一覧

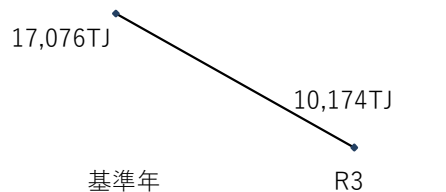
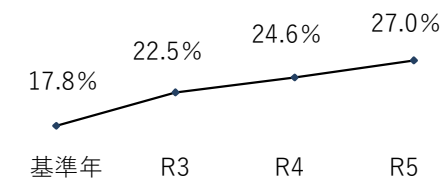
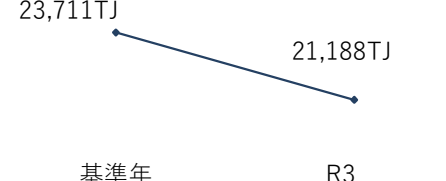
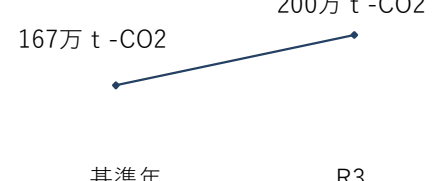
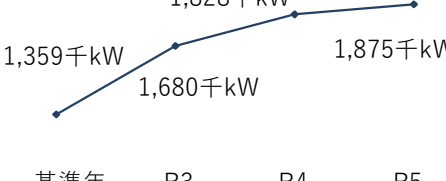
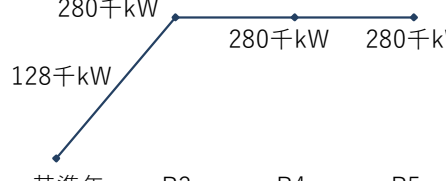
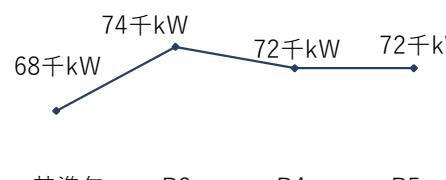
参考資料1

進捗状況（目標値を現状で達成すべき水準に按分した「目安」と「現状値」の比で記載）

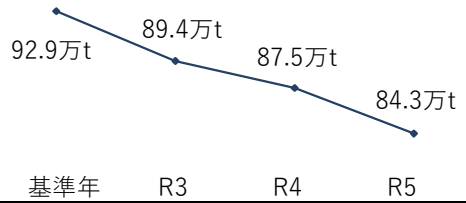
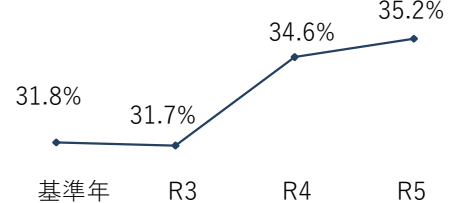
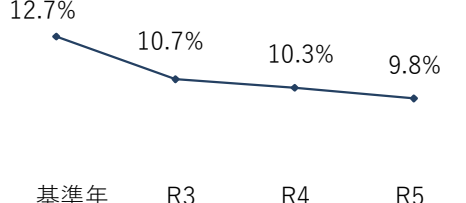
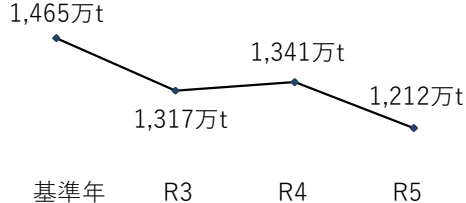
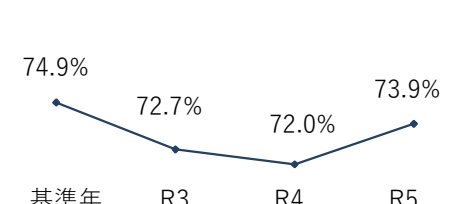
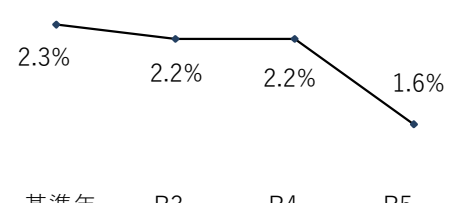
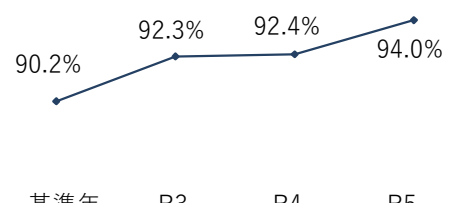
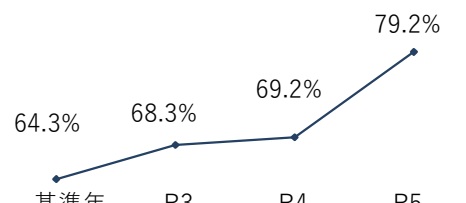
達成率120％以上：◎、達成率100～120％：○

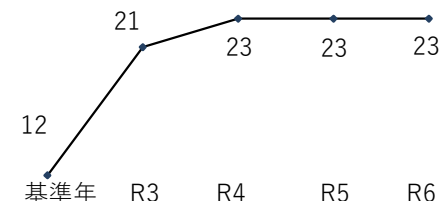
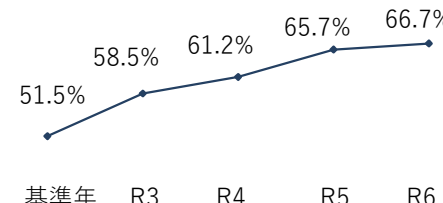
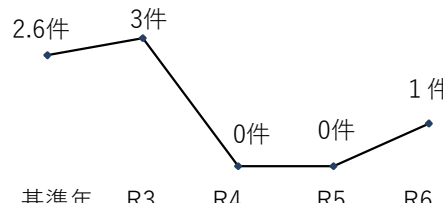
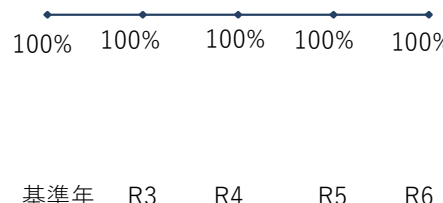
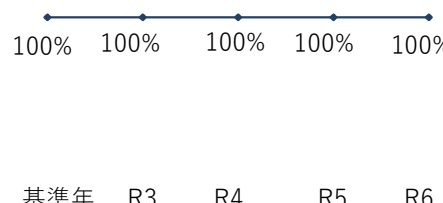
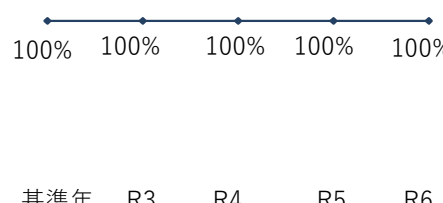
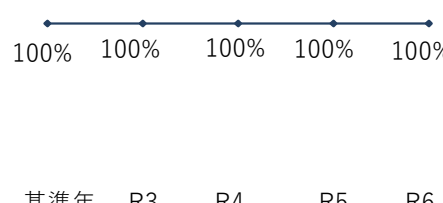
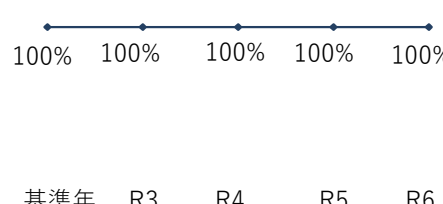
達成率90～100％：△、達成率90％未満：×

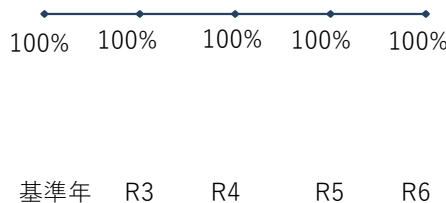
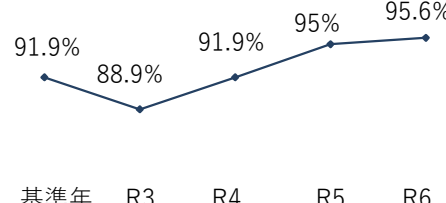
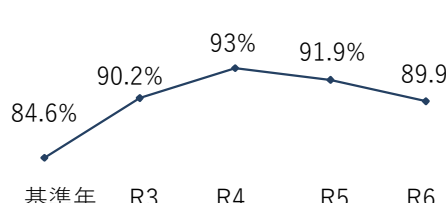
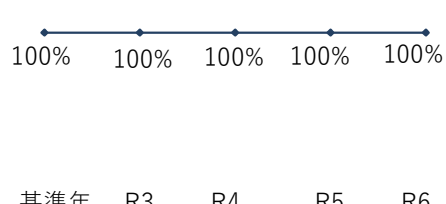
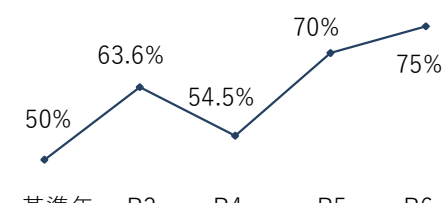
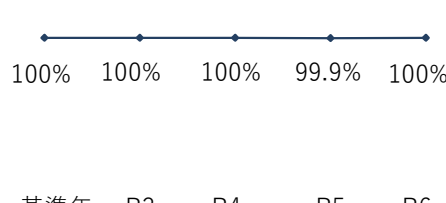
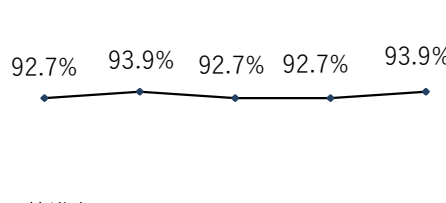
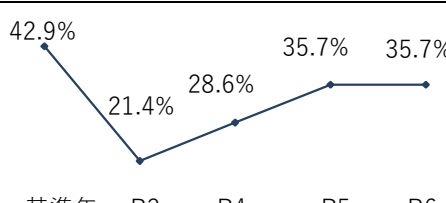
施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進	省エネルギー対策等の推進	成果	1	温室効果ガス排出量（県全体）	万 t -CO2	H25	5,903	R7	4327 ^{※1}	4,825 (R3)	4,852	5,903万 t -CO2 4,825万 t -CO2 基準年R3	○
		成果	2	二酸化炭素排出量（産業）	万 t -CO2	H25	4,094	R7	3,100 ^{※1}	3,467 (R3)	3,431	4,094万 t -CO2 3,467万 t -CO2 基準年R3	△
		成果	3	二酸化炭素排出量（民生（業務））	万 t -CO2	H25	405	R7	215 ^{※1}	214 (R3)	278	405万 t -CO2 214万 t -CO2 基準年R3	◎
		成果	4	二酸化炭素排出量（運輸）	万 t -CO2	H25	613	R7	518 ^{※1}	515 (R3)	550	613万 t -CO2 515万 t -CO2 基準年R3	○
		成果	5	二酸化炭素排出量（民生（家庭））	万 t -CO2	H25	579	R7	344 ^{※1}	389 (R3)	422	579万 t -CO2 389万 t -CO2 基準年R3	○
		成果	6	二酸化炭素排出量（廃棄物）	万 t -CO2	H25	45	R7	34 ^{※1}	42 (R3)	38	45万 t -CO2 42万 t -CO2 基準年R3	×

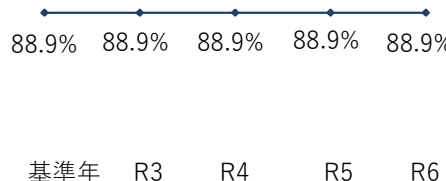
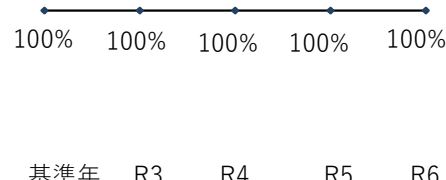
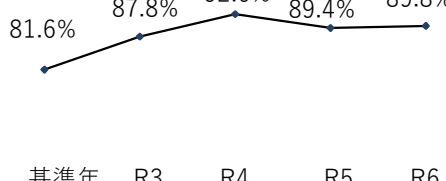
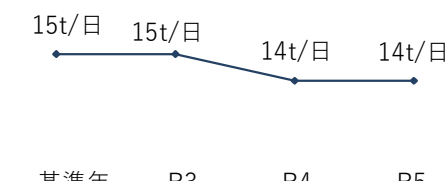
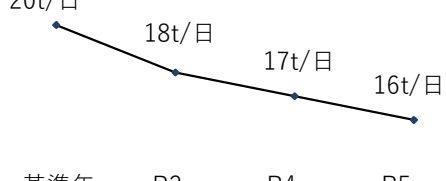
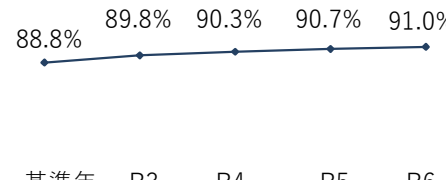
施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進	省エネルギー対策等の推進	参考	7	電力使用量（民生（業務））	TJ	H25	17,076	R7	11779※1	10,174 (R3)	13,545		◎
		参考	8	次世代自動車導入割合	%	H30	17.8	R7	31※1	27 (R5)	27		○
		参考	9	電力使用量（家庭）	TJ	H25	23,711	R7	19474※1	21,188 (R3)	20,886		△
		成果	10	その他ガス排出量	万 t -CO2	H25	167	R7	117※1	200 (R3)	134		×
	再生可能エネルギーの導入促進	成果	11	太陽光発電設備導入容量	千kW	R1	1,359	R7	1,669	1,875 (R5)	1,566		○
		成果	12	バイオマス発電設備導入容量	千kW	R1	128	R7	128	280 (R5)	128		◎
		成果	13	廃棄物発電設備導入容量	千kW	R1	68	R7	68	72 (R5)	68		○

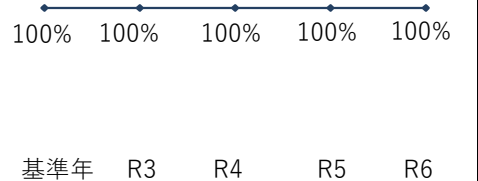
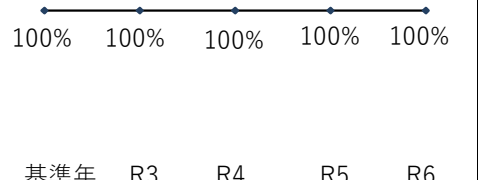
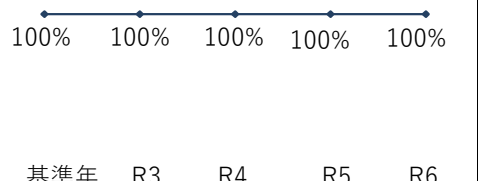
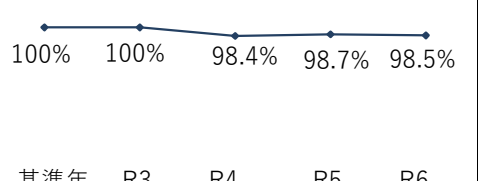
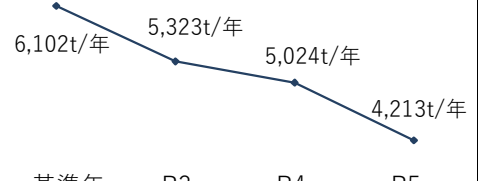
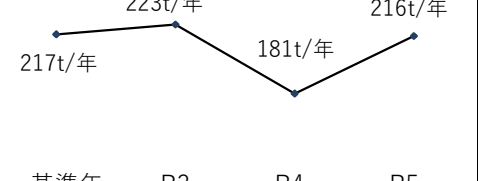
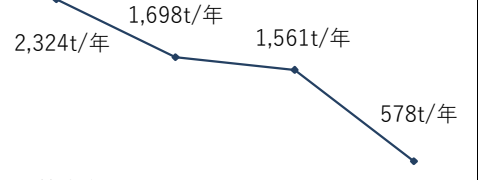
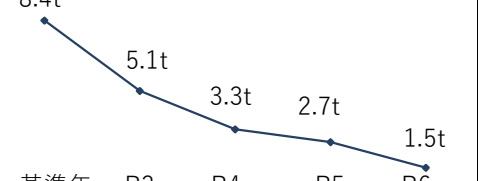
施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進	カーボンサイクルの推進	成果	14	二酸化炭素の回収・再利用に係る研究開発事業の数	件	R2	5	R7	現状値より増加	12	5※2		◎
		成果	15	二酸化炭素の回収・再利用に係る実用化件数の数	件	R2	1	R7	現状値より増加	2	1		◎
		成果	16	手入れ不足人工林の間伐面積	ha	R1	617	R7	1,050	878	978		×
	気候変動を見据えた適応先の推進	参考	17	気候変動適応策の認知度	%	R3	18.2	R7	現状値より増加	10.9	18.2		×
		参考	18	避難の準備行動ができている人の割合	%	R1	13.6※3	R7	50	15.7※4	44.0		×
		参考	19	河川氾濫により床上浸水が想定される家屋数※5	戸	R2	約18,000	R7	約16,700	約16,500	―※6		―※6
		参考	20	土砂災害から保全される家屋数	戸	R2	約116,000	R7	約129,000	約131,000	―※6		―※6

施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
循環型社会の実現	資源循環サイクルを拡大させた社会づくり	成果	21	一般廃棄物排出量	万 t	H30	92.9	R7	89.1	84.3 (R5)	90.2		○
		成果	22	一般廃棄物再生利用率	%	H30	31.8	R7	32.5	35.2 (R5)	32.3		○
		成果	23	一般廃棄物最終処分率	%	H30	12.7	R7	12.2	9.8 (R5)	12.3		◎
		成果	24	産業廃棄物排出量	万 t	H30	1,465	R7	1,453	1,212 (R5)	1,456		○
		成果	25	産業廃棄物再生利用率	%	H30	74.9	R7	75.5	73.9 (R5)	75.3		△
		成果	26	産業廃棄物最終処分率	%	H30	2.3	R7	1.9	1.6 (R5)	2.0		◎
		成果	27	がれき類の再生利用率	%	H30	90.2	R7	94.2	94.0 (R5)	93.1		○
		成果	28	廃プラスチック類の再生利用率	%	H30	64.3	R7	76.4	79.2 (R5)	72.9		○

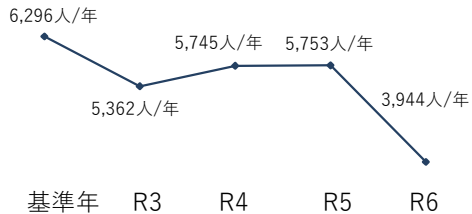
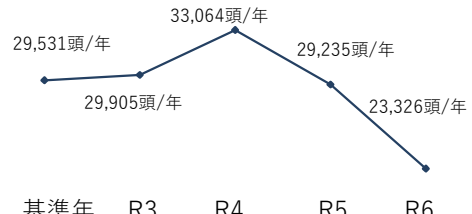
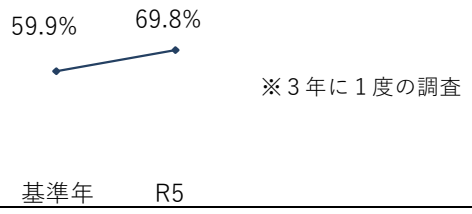
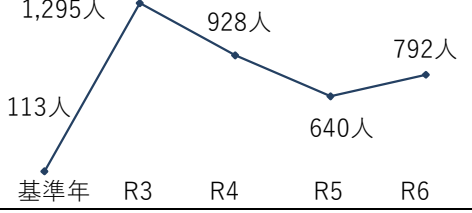
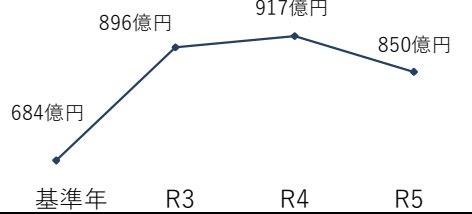
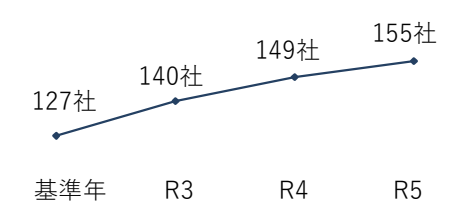
施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
循環型社会の実現	適正かつ効率的・安定的な社会づくりの廃棄物処理を	成果	29	市町における災害廃棄物初動マニュアルの策定※7	自治体数	R1	12	R7	23	23	23		○
		成果	30	電子マニフェスト普及率	%	H30	51.5	R7	80	66.7	75.9		×
		成果	31	産業廃棄物の不法投棄件数（10t以上）	件	H27-R1平均	2.6	R7	2	1	2.1		◎
地域環境の保全	良好な大気環境の確保	成果	32	環境基準達成率：二酸化硫黄	%	R1	100	R7	100	100	100		○
		成果	33	環境基準達成率：一酸化炭素	%	R1	100	R7	100	100	100		○
		成果	34	環境基準達成率：二酸化窒素	%	R1	100	R7	100	100	100		○
		成果	35	環境基準達成率：浮遊粒子状物質	%	R1	100	R7	100	100	100		○
		成果	36	環境基準達成率：ベンゼン	%	R1	100	R7	100	100	100		○

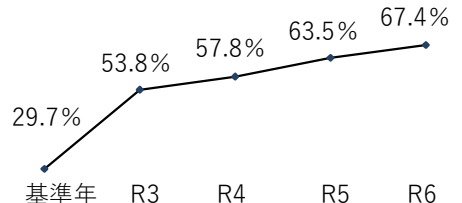
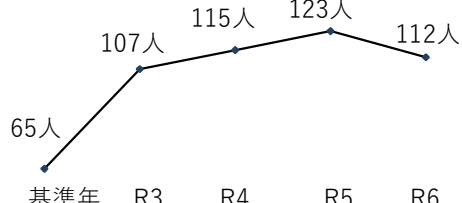
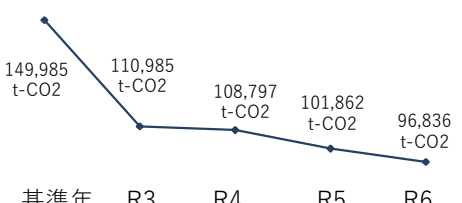
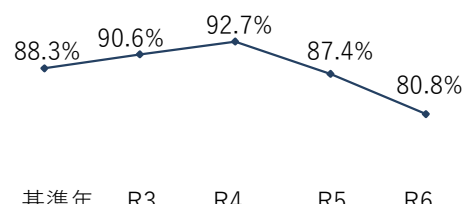
施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
地域環境の保全	良好な大気環境の確保	成果	37	環境基準達成率：ジクロロメタン	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	38	環境基準達成率：一般地域における騒音	%	R1	91.9	R7	現状値より増加	95.6	91.9	 91.9% 88.9% 91.9% 95% 95.6% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	39	環境基準達成率：道路に面する地域における騒音	%	R1	84.6	R7	現状値より増加	89.9	84.6	 84.6% 90.2% 93% 91.9% 89.9% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	40	環境基準達成率：航空機騒音	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	41	環境基準達成率：新幹線鉄道騒音	%	R1	50	R7	現状値より増加	75	50	 50% 63.6% 54.5% 70% 75% 基準年 R3 R4 R5 R6	◎
	健全な水環境の保全・管理	成果	42	環境基準達成率：重金属等有害物質	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 99.9% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	43	環境基準達成率：河川BOD	%	R1	92.7	R7	現状値より増加	93.9	92.7	 92.7% 93.9% 92.7% 92.7% 93.9% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	44	環境基準達成率：海域COD	%	R1	42.9	R7	現状値より増加	35.7	42.9	 42.9% 21.4% 28.6% 35.7% 35.7% 基準年 R3 R4 R5 R6	×

施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
地域環境の保全	健全な水環境の保全・管理	成果	45	環境基準達成率：海域全窒素	%	R1	89	R7	現状値より増加	88.9	88.9	 88.9% 88.9% 88.9% 88.9% 88.9% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	46	環境基準達成率：海域全りん	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	47	環境基準達成率：地下水	%	R1	81.6	R7	現状値より増加	89.8	81.6	 81.6% 87.8% 92.0% 89.4% 89.8% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		参考	48	COD汚濁負荷量（瀬戸内海水域）：生活系COD	t/日	R1	15	R6	13	14 (R5)	13.8	 15t/日 15t/日 14t/日 14t/日 基準年 R3 R4 R5	△
		参考	49	COD汚濁負荷量（瀬戸内海水域）：産業系COD	t/日	R1	20	R6	20	16 (R5)	20	 20t/日 18t/日 17t/日 16t/日 基準年 R3 R4 R5	◎
		参考	50	COD汚濁負荷量（瀬戸内海水域）：その他COD	t/日	R1	7	R6	7	6 (R5)	7	 7t/日 6t/日 6t/日 6t/日 基準年 R3 R4 R5	○
		参考	51	污水处理人口普及率	%	R1	88.8	R7	92.8	91.0	91.7	 88.8% 89.8% 90.3% 90.7% 91.0% 基準年 R3 R4 R5 R6	△

施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
地域環境の保全	化学物質による健康なリスクの把握・土壌環境の保全	成果	52	環境基準達成率：ダイオキシン類（大気）	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	53	環境基準達成率：ダイオキシン類（公共用水域）	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		成果	54	環境基準達成率：ダイオキシン類（土壌）	%	R1	100	R7	100	100	100	 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	○
		参考	55	事業者によるダイオキシン自主測定の実施率	%	R1	100	R7	100	98.5	100.0	 100% 100% 98.4% 98.7% 98.5% 基準年 R3 R4 R5 R6	△
		参考	56	化管法に基づく指定化学物質の環境への届出排出量：大気 ^{※8}	t/年	H30	6,102	R7	現状値より削減	4,213 (R5)	6,102	 6,102t/年 5,323t/年 5,024t/年 4,213t/年 基準年 R3 R4 R5	◎
		参考	57	化管法に基づく指定化学物質の環境への届出排出量：公共用水域 ^{※8}	t/年	H30	217	R7	現状値より削減	216 (R5)	217	 217t/年 223t/年 181t/年 216t/年 基準年 R3 R4 R5	○
		参考	58	化管法に基づく指定化学物質の環境への届出排出量：埋立処分 ^{※8}	t/年	H30	2,324	R7	現状値より削減	578 (R5)	2,324	 2,324t/年 1,698t/年 1,561t/年 578t/年 基準年 R3 R4 R5	◎
	ごみの海洋流出防止対策	成果	59	3品目（ペットボトル、プラスチックボトル、レジ袋）の海岸漂着物量	t	R1	8.4	R7	7.9	1.5	8.0	 8.4t 5.1t 3.3t 2.7t 1.5t 基準年 R3 R4 R5 R6	◎

施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
地域環境の保全	地域環境の維持・向上	成果	60	水質汚染事故発生件数	件	R1	147	R7	現状値より減少	96	147		◎
		成果	61	緑地環境保全地域面積	ha	R1	818	R7	現状値より増加	818	818		○
自然環境と生物多様性の保全	自然資源の持続可能な利用	成果	62	自然公園等利用者数	千人	R1	9,642	R7	現状値より増加	8,271	9,642		×
		参考	63	県自然環境保全地域面積	ha	R1	2,054	R7	2,054	2,054	2,054		○
		参考	64	自然公園面積	ha	R1	37,857	R7	37,857	37,857	37,857		○
		参考	65	自然海浜保全地区面積（陸域）	ha	R1	17	R7	17	17	17		○
		参考	66	森林ボランティア参加者数	人	R1	78,108	R7	現状値より増加	54,066	78,108		×
		参考	67	アマモ場、ガラモ場等の造成面積	ha	R1	26.2	R7	46	45.8	43		○

施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
自然環境と生物多様性の保全	生態系の健全な維持管理	成果	68	レッドデータブックひろしま掲載数	種	—	—	—	—	1,161	—	—	—
		参考	69	自然観察会等への参加者数	人/年	R1	6,296	R7	6,000	3,944	6,000		×
		参考	70	特定鳥獣保護管理計画に基づく特定鳥獣の個体群管理：イノシシの捕獲数	頭/年	R1	29,531	R7	35,000以上	23,326 ^{※9}	35,000		×
		参考	71	特定鳥獣保護管理計画に基づく特定鳥獣の個体群管理：ツキノワグマの除去数	頭/年	R1	189	R7	135以内	533 ^{※10}	135		×
環境負荷の少ない社会を支える人づくり・仕組みづくり	環境学習・自主的な環境活動等の推進	成果	72	環境保全活動に取り組んでいる県民の割合	%	R2	59.9	R5	65	69.8 ^{※11} (R5)	65.0		○
		参考	73	環境学習講師派遣学習会の受講者数	人	R2	113	R7	700	792	700		○
	環境関連産業の振興	成果	74	環境・エネルギー分野の付加価値額	億円	R1	684	R7	892	850 (R5)	822.7		○
		成果	75	環境・エネルギー分野の取組企業数	社	R1	127	R7	170	155 (R5)	155.7		△

施策の構成		指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
環境負荷の少ない社会を支える人づくり・仕組みづくり	環境配慮の仕組みづくり	成果	76	ひろしま地球環境フォーラム会員のうち、SDGsと関連付けて事業活動を行っている事業者の割合	%	R1	29.7	R7	75	67.4	70.0		△
		参考	77	環境経営やSDGsに関するセミナー等受講事業者数	人	R2	65	R7	80	112	80		◎
		成果	78	県の事務事業で排出される温室効果ガス排出量	t -CO2	H25	149,985※12	R12	67,493	96,836※13	96,608		△
		参考	79	県のグリーン購入率	%	R1	88.3	R7	100	80.8	98.1		×

※1 「広島県地球温暖化防止地域計画」に定める目標値

※2 国のカーボンリサイクル関連予算を活用した技術開発のうち、大崎上島町の実証研究拠点化に係るもの（CO2分離回収技術を含む累計）

※3 「令和元年度防災・減災に関する県民意識調査」において、「広島県「みんなで減災」県民そうぐるみ運動計画」で掲げる5つの行動目標をすべて実施していると回答した人の割合

※4 ※3に、「マイタイムラインの作成」も要件に追加

※5 河川毎に計画規模（年超過確率1/10～1/100）の洪水を想定

※6 事業効果が発揮されるまでに一定の期間を要すること等から、指標の達成率については目標年度で評価する。なお、各年度の進捗状況については、「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン アクションプラン」に掲げるKPIにより管理している。

※7 R3の達成を目標としていたが、R3は未達。R4に達成した。以降も全市町が参加する研修・訓練等を通じて、マニュアルの継続的な見直しを実施

※8 現状値は、令和5年度の届出対象物質の見直し後も継続して指定された319物質の排出量

※9 速報値

※10 広島県、島根県、山口県の合計

※11 県政世論調査で3年に1度、調査

※12 県営水道事業が広島県水道広域連合企業団へ以降したことを受け、当該温室効果ガス排出量を差し引いた値

※13 県庁本庁舎における再エネ電力の調達の効果を反映した排出量。なお、基礎排出係数を用いて算定した排出量は102,272t-CO2